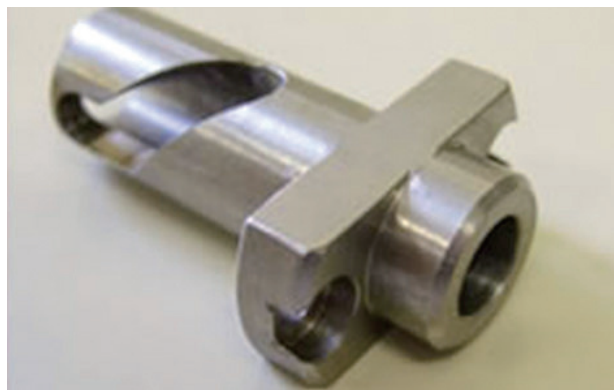
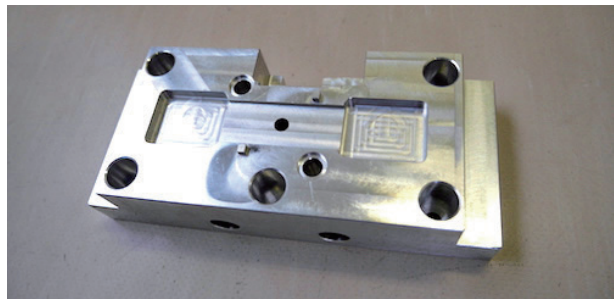


株式会社汎用

マシニングセンターを新規導入し、生産性が向上。
研究機関や企業が求める、独創性の強い機械や
部品の発注に、より早く対応できるようになった

取り組みの経緯

茨城県には科学技術拠点都市として注目される筑波研究学園都市があり、筑波大学やJAXAといった国などの研究・教育機関をはじめ、約150の民間の研究機関・企業等が集まっている。自社工場は筑



各種装置の設計から製造・組立・据付まで一貫して行うほか、部品の切削加工や製缶・溶接なども行う

波研究学園都市に近い阿見町にあり、研究機関や企業の開発に役立つ機械の設定、試作品の製造などを行っている。各種装置の設計から製造、組立、据付、メンテナンスまで一貫して請け負うほか、顧客のアイデアをより良くするためのアドバイスも行い、信頼を得ている。

顧客からの発注が研究に関する機械や部品の場合は、製造途中に仕様変更されることも少なくない。変更が入ると、それに合わせて機械の進行を止めるため、他の作業が滞ってしまうという事態が発生していた。そこで、製造時間を短縮できる最新型のマシニングセンターを新しく導入し、変更にも柔軟に対応できる製造ラインを目指した。

事業の具体的内容及び効果



最新のマシニングセンターを新規導入し、製作時間の減少と精度向上が実現。生産性がアップした

株式会社汎用

〒300-0331 阿見町阿見5445-10
TEL.029-887-8430 FAX.029-887-8429
http://www.hanyo2.com/
資本金：4,000万円
従業員：20名

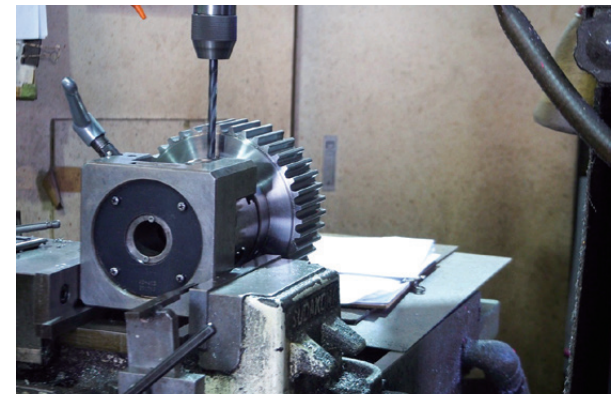
用途に合わせて最適な機械の設計を提案する。部品製作においては、試作・単品・小ロットを得意とし、さまざまな部品の切削、板金、溶接に対応している。

事業概要

新設備導入により、高品質、高スピードでの対応実現を確認し、総合的な技術力の向上、工場全体での生産性が向上。従来設備も合わせたマシニングの基準化を進め、人材育成にも力を入れる。

マシニングセンターは、目的に合わせて切断、面を削る、穴を開ける、切削などを行う工作機械の一つ。マシニングセンターで作った部品で機械を作ることから、機械を作るための機械「マザーマシン」と呼ばれている。今回の事業で新しいマシニングセンターを導入したことにより、部品加工時間の短縮と精度の向上が実現でき、全体的に生産性が10%アップした。これにより、顧客の独創的なニーズを高精度・短納期で実現する部品製作プロセスが構築でき、受注も増加した。

さらにこの結果を受けて、従来設備も合わせたマシニングに関する基準化を進め、技術人材育成にも力を入れていく。生産性の向上と人材育成の両方を行うことで、企業としての競争力を強化していく。



地震や天災による故障・不具合から摩耗によるものまで、機械のメンテナンスも行なっている

事業成果の活用・今後の取り組み

社長の石倉東太さんは「グローバル社会において、低単価の量産品の受注が海外に流れていく中、日本はより知的なもののづくりをしていく必要がある」と話す。顧客が求めるものを、顧客とともに一から作っていくという同社の強みは、まさにそれを体現している。

「作業はロボットが代わってくれるかもしれないが、積み重ねた経験を生かしてより良い仕事するのは人の担当。ベテランの経験値を若手と共有し、一つの仕事を次の仕事につなげていきたい」と石倉さん。現在は県内外からの発注がメインだが、いずれは海外からの受注も取り付けたいと考えている。



顧客の「こうしたい」を叶えるだけでなく、「こうすればもっと良くなる」提案も提供している



石倉 東太さん
株式会社汎用
代表取締役社長

『顧客の満足を原点に、提案と技術革新を進め、豊かな価値を創造すること』、『拡大のみを追求せず、チャレンジ精神を忘れず、企業の創業に全力を尽くすこと』、『健全な事業活動を通し、物・心両面の繁栄に努力すること』を理念に、用途に合わせた機械設定を行っている」